

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形県舟形町

山形森林管理署最上支署

人口 4,556人 (R7.10.31現在)

面積 119.04km²

市町村の木 えんじゅ

市町村の花 こぶし

舟形町は、山形県の北東部で最上郡の南端に位置し、南北に狭く、東西に細長い地形です。町の中央を清流最上小国川が流れ、田畠を潤しながら山形県の母なる川・最上川へと合流します。

清流最上小国川は、田畠を潤すだけでなく香り高い鮎を育て、その鮎を求めて全国から多くの釣り人が訪れます。

7月21日（祝）には「第6回鮎釣り甲子園大会」がアユパークふながたを会場に開催されました。約40名の高校生が鮎釣り愛好家のサポートを受けながら鮎の友釣りに挑戦しました。



第6回鮎釣り甲子園大会

9月上旬には、町最大のイベントである「若鮎まつり」が河川公園にて開催されます。町のシンボルである「清流最上小国川」で育まれた鮎をはじめ、特産品の販売、友好都市からの出店もあります。当日は町芸術文化協会や地域の子どもたちの発表、豪華歌謡ショーなどの各種イベントや、子どもの鮎つかみどり体験などの催しも行われます。



名物「鮎の塩焼き」

平成4年8月に、町内「西ノ前遺跡」から高さ45センチの日本最大の土偶が出土しました。縄文



国宝「縄文の女神」

時代中期（約4,500年前）のものと言われており、均整のとれた八頭身の全身立像でその美しい容姿から「縄文の女神」と呼ばれています。平成24年国宝に指定されています。

令和6年4月、東北農林専門職大学がお隣の新庄市に開学しました。当町では、これまで学生向けアパート20戸と教職員向け8戸を整備しています。コンビニや駅に近く、家具や家電、Wi-Fiなどを完備しながらも、格安の家賃にて提供しています。今後学生向けをさらに整備しながら、将来、日本の農林業を牽引する高度人材を目指す、学生の皆さんを引き続き支援してまいります。



学生向けアパート

より詳しい
市町村の魅力はこちから→

